

全百
書科
交際
篇

福岡第一師範學校
(學校圖書)

分類號	第	號
總記		門
講義全集		部
第	冊	次
冊之內第		冊
分類號	第	號
081.2		

T1A1

23

Ta 33

2

百科全書

交際篇下

政治總論

高橋達郎

譯編

天下ノ民皆天然ノ德質ヲ全ウシ相交ルニ正直
 懇親ヲ以テスルキハ如何ナル政治ヲ設ルモ反
 テ無益ナルベシ太古詩家ノ説ニ嘗テ金世ト云
 フ時世アリ此際ニ方リ全世界太平ノ安樂ヲ仰
 キ懇親ノ情ヲ厚ウシテ毫モ不善ノ事ナカリシ
 ト然ト雖^レ是固ヨリ夢幻ノ想像ニ出ルモノニ

百科全書

交際篇下

一

二

圖書 和圖書 遡



a 1380323177 a

福岡教育大学蔵書

シテ曾テ其史傳ノ尋ヌベキナシ凡ソ歴代ノ沿革ヲ考フルニ愈古代ニ至レバ國家ノ情態モ亦愈粗莽ナルヲ覺ユ開化文明ノ如キハ恰モ成長ノ遲キ植物ニ異ナラス屢中途ニ遲滯シ更ニ又萌孽スルアリテ其進歩甚ダ遲シ世界ノ形勢未ダ曾テ今日ヨリ善キハナシ古來ノ實驗ニ依テ之ヲ觀レニ天下國家政治ナケレバ一日モ存スルヲ能ハス故ニ上ニ君主アリテ下億兆ノ平睦ヲ謀リ強者弱ヲ役スルノ弊ヲ防キ不善ヲ譴罰スル等數多ノ要務ヲ掌ルベキ権力ヲ持セザル

可カラズ政治ノ如キモ固ヨリ善アリ惡アリト雖凡必ズ一種ノ政治ナキヲ得ズ而メ各國ノ人民中或ハ他人ヲ管理メ障碍ナク其目的ヲ遂ケシメント欲スル者アリ或ハ甘シテ斯ル人ノ權威ニ従フモノアリ又其人ヲ管理セシメテ欲スル人モ或ハ自カラ逼リテ其權威ヲ得ントスルモノアリ或ハ他人ノ勸獎ニ由テ之ヲ得ントスルモノアリ或ハ人々ヲシテ其福祉ヲ謀ルニ自カラ之ヲ為スヨリ寧我ニ頼レハ更ニ一層ノ善美ヲ盡サンテヲ解悟セシメ以テ其權ヲ得ント

スル者アリ斯ノ如ク人々競ヒテ人ノ上タラシ
トヲ執念シ又人ノ命ニ從ハントヲ欲スル如キ
志向ト能カトハ皆天ノ人ニ賦與スル所ニシテ
今之ヲ棄却シ或ハ之ヲ行ハザルヲ欲スルモ能
ハズ此二者ハ則チ人性ノ本源ニシテ好惡心ノ
發スルヤ皆之ニ由ラザルナキハ恰モ嗜食心ノ
天性ニ起ルガ如シ故ニ人々宜シク知識ヲ開キ
考量ヲ盡シ以テ之ヲ節制セバ此二者遂ニ人類
ノ洪福ヲ謀ルベキ器械タルニ至ルベシ

政治ノ体裁

族宗政治及ヒ同姓種族ノ政治ハ其事情略前卷
ニ記載セシガ世界ノ政治此等ヲ以テ本ト為ス
次テ起リシハ王政ナリ其起リシ所以ハ則チ戰
争ニシテ當時豪傑ノ士自カラ稱シテ王ト為リ
以テ大権ヲ掌握シ或ハ他ヨリ推シテ王ト為シ
以テ之ヲ得セシメシモノナリ太古某ノ國ニ於
テ僧侶ノ政治行ハレテ僧侶其政ヲ行フニ方リ
盡ク神命ニ托ス故ニ當時此政治ヲ名ヅケテ神
政ト稱セリ此政治ハ蓋シ蠱惑ノ尊恐ヨリ起リ
シモノト雖モ國家ヲ太平ニシ人民ノ裨益ヲ為

セシモノナレバ武門ノ政治トハ自カラ其階級ヲ異ニセリ

當今世ニ存スル種々ノ政治ハ皆上文ノ政治ヨリ世々ノ實驗ヲ經テ後漸次ニ興起セシ者ナリ蓋シ天下ニ政治ノ如ク識見ヲ弘ムルモノナシト雖凡圓全完備ノ政治ノ如キハ曾テ起ルヤ否ヤヲ知ラズ而ノ世ニ多クノ記載アリト雖凡到底唯二三ノ大旨ヲ詳カニスルニ過キス故ニ時勢ヲ知ラズシテ漫ニ一種ノ良政ヲ設ケント欲スルモ反テ唯空想ヲ追フノ外他事ナカルベシ

凡ソ何様ノ政治ヲ設ルモ普ク全世界ニ適當スルヲ能ハズ仮令名義ハ至美至良ナルモ之ヲ今日ノ實地ニ試ミル片ハ全ク功驗ナキモノナリ槩スルニ方今政治ノ体裁ハ皆人ノ隨意ニ出ルモノニシテ更ニ一定ノ規則ナシ故ニ今最モ貴重スベキハ他ニアラズ各國其開化ノ度ニ應シ其最モ昌明ナル部落ノ景況ト風俗トニ從テ其政治ヲ設ルニ在ランノミ

方今普通一般ニ適當スル政治ナキガ故ニ各國其進歩ノ度ニ從テ其体裁ヲ稍異ニスルモノナ

百利全言
文喜小
リ夫レ億兆ノ人民無學文育ニシテ躁暴ノ性ヲ
存スレバ則チ強迫ナル獨裁政治ヲ設ルカ要ス
又億兆ノ人民文明ニ赴キ好和ノ心ヲ存スレバ
則チ順良ナル自由政治ヲ設ケザルヲ得ズ世人
常ニ以為ラク帝王ノ志氣高聳ナルモノハ自由
ヲ許可スベキ時宜ニ方リ猶獨操ノ權ヲ有スト
然ト雖凡一般ニ獨裁政治ノ存スル國ハ人民甚
ダ不器量ニシテ仮令自由ノ制度ヲ設ルモ普ク
之ヲ遵守スルヲ能ハズ蓋シ各國ノ政治モ其配
下ノ人民ニ為慣シテ其体裁ヲ變セザルベカラ

不然ラズンバ其政治忽チ廢滅スベシ凡ソ各國
ノ政府其下民ヲ管理スト雖凡畢竟其下民ノ力
ヲ以テ下民ヲ治メ且下民ヲ以テ下民ヲ順從ナ
ラシムル者ナリ故ニ古來各國常ニ最モ暴虐ヲ
表スルノ政治ハ則チ其下民ヨリ之ヲ妨ク又衆
論ト雖凡抑ヘテ之ヲ行ハザルヲモアレ凡總シ
テ管理ヲ受ル者ノ情意偏見ハ只管ラ之ヲ商議
シテ定ムルヲ要ス
是故ニ政府ハ公明正大ニ基キ國家ノ福祉ヲ謀
ルヲ以テ其任ト為サ、ル可カラス故ニ其人民

ノ知識ヲ開キ從テ其意見及ビ希望ヲ確立セシ
メ以テ容易ク政權ヲ動カスカ如クナラシムル
ヲ要ス人民ヲ昌明確乎タラシムル片ハ惡弊ニ
流溺スル片ト異リ妄ニ政治ヲ妨碍スルノ弊害
ナキ而已ナラズ政府ノ欠キ難キ所置ハ飽マデ
同心戮カシテ之ヲ翼クルニ至ル是則チ人民ヲ
昌明確乎タラシムルノ益ナリ夫レ不昌不明ノ
民ハ常ニ己ノ福祉トナルベキトモ己ノ誤見ヲ
主張シテ之ヲ拒マントス喻ヘバ政府ニ於テ正
理ノトヲ為スモ反テ不當ノトトシテ之ヲ妨ケ

又不當ノトヲ行フモ却テ正理ノトトシテ之ヲ
扶ケントスルノ弊常ニ多シ一千七百八十年ノ
頃英國政府ニ於テ從來羅馬宗ニ逆テ設ケシ不
正ノ法度ヲ廢止セシハ實ニ正當ノトナレ凡人
民之ヲ心ニ善トセス既ニシテ龍動ニ於テロル
ド、ゼヲルダ、ゴルドン黨蜂起シテイヂンブルグ
ニ屯聚シ竟ニ羅馬宗ノ小寺ヲ燒燼セリ是ニ依
テ政府ノ目的モ一時行ハレザルニ至ラントセ
シトアリ
是故ニ政治ヲシテ正路ニ歸セシメ以テ國家ノ

裨益トナラシムルニハ先ツ億兆ノ人民ヲシテ
昌明ナラシムルヲ第一歩トス而メ唯學校ニ於
テ如何ニ博ク學ハシムルモ其成績ハ之ヲ昌明
ナラシムルノ勝ルニ若カズ故ニ衆人識見ヲ得
思意ヲ推シ弘メ好尚ヲ鼓舞シ兄弟長幼ノ慈愛
ヲ開ク等ノ機ヲ失ハザルヲ要ス夫レ各國偶開
化ノ逡巡スル所以ハ政府ノ暴虐ニアラズシテ
人民ノ不學文盲ナルニ因ルナリ故ニ此事情ヲ
洞察スル片ハ真ノ立君政治、貴族政治ト雖モ豈
唯苛酷ト云フヲ得ンヤ

貴族合議

貴族トハ特權ヲ得タル一族ノ貴人ナリ其初メ
數箇ノ家族アリテ精勵多才ナルト他ニ卓越セ
シヨリ竟ニ富饒ヲ致シ威權ヲ得而メ其富ヲ所
置シ其威權ヲ行ヒ以テ其子孫ノ志向及ヒ能力
ヲ開クノ益ヲ為セシト今日ノ勤勞ヲ以テ今日
ノ食ヲ求ムル賤工ノ比ニアラズシテ人皆此等
ノ状態ヲ洞察セシヨリ遂ニ其威愈光輝ヲ生シ
其權愈盛大トナリ以テ斯ル貴族ノ興起スルニ
至リシモノナリ蓋シ他人ニ卓越シテ政治ヲ掌

トルノ美ハ已レノ情ヲ制シ已レノ慾ヲ禁シ且衆人
ニ對シテ公道ヲ行フノ益ヲ教フルノ美ニ如カ
マシテ今固ヨリ貴族政治ノ弊害ヲ覆フコトヲ欲
セズト雖元來國家ノ進歩ハ恰モ人ノ逍遙ス
ルガ如ク全體ノ一部分前行シテ然ル後餘ノ部
分ニ次テ進歩ス故ニ何レノ國ヲ問ハス貴族
政治ハ良政府ヲ建設スルノ階梯トナルモノナ
リ又一國開化ノ不齊ナルヨリシテ貴族ノ威權
興起セシト雖其體裁一ナラス我が大英國ノ
如キモ亦不文不明ノ民族アリテ常ニ卑賤ノ職

業ヲ為シ以テ國ノ安全ヲ害スルヨリ遂ニ囚人
トナリテ捕廳及ヒ審院ニ繋カル、モノ少カラ
ス是ニ於テ遂ニ貴族ノ威權ヲ生セシモノナリ
又一國開化ニ普カラシメンニハ威權ヲ愛シ且
之ヲ得テ行フノ能カラ持スル者唯數人アリテ
衆庶ヲシテ普ク其位班ニ加ハルノ好嗜ヲ鼓舞
セシムルヲ要トス然ラバ則チ漫ニ貴族政治ノ
弊害ヲ訛ツベキニ非ズ
草莽不明ノ國ニ於テハ政府ヲシテ其職令ヲ盡
サシムルノ権カヲ人民ニ與スル為メ欠クベカ

ラザル昌明ノ教化ナク半開半化ノ國ニ於テハ
 甲種ノ人民ハ既ニ文明ニ趣クト雖モ乙種ノ人
 民ハ尚草昧無為無學文盲ナルカ故ニ唯一部ノ
 人民ノミ常ニ此權カヲ行フヲ得テ徒ラニ己ノ
 利ヲ計リ以テ他人ノ裨益ヲ滅ス但シ唯知ラス
 識ラズ斯ル所業ヲ為スモノ多シト雖モ間故サ
 ラニ意ヲ用キテ為スモノアリ斯ノ如キハ至大
 ノ惡業ナリ凡ソ人民ヲシテ良政府ヲ得セシム
 ルハ他策ニアラス斯ル政ヲ行ハシムルノ権力
 ニ在リ此権力ノ起ル所以ハ聰明ト識見トニシ

テ聰明トハ世ノ文明開化ニ求メ教育ヲ以テ進
 歩セシムルモノヲ云ヒ識見モ亦一國ノ部落普
 ク推シ弘マルモノヲ云フナリ蓋シ何レノ國ニ
 テモ無學文盲ナル種類ハ必ス軟弱ナルベシ軟
 弱ナレバ則チ必ズ他ヨリ束縛セラル、ヲ免レ
 ズ是故ニ國內ニ無學文盲ナル種類アレバ他ニ
 如何ニ聰明識見ノ人アルモ強國ト為スニ足ラ
 ス喻ヘバ此ニ一聯ノ鎖アリ其中軟弱ナル鎖輪
 アレバ仮令他ノ鎖輪ハ強堅ナルモ其鎖必ス強
 堅ト為スベカラサルガ如シ

古來ヨリ上下ノ別ナク總テ人生ノ權利ヲ保護シテ他ヨリ之ヲ侵サ、ラシムルハ至大切要ノ職分ニシテ昔シ羅馬ノ人民等良政府ヲ建テ、己ノ身ヲ保護セシ為メ屢官ニ逼リテ平民ノ權利ヲ保護スルヲ掌トルベキ官職ヲ立ツルヲ得之ヲ名ツケテ民憲トノリニテト稱シ又平民中ヨリ一名ヲ舉テ大憲ニシテトナスノ權及ヒ其他數種ノ特權ヲ得タリ英國ノ「マグナカルタ」及ビ「ゼビル」ヲスライツノ義ノ權利書ノ如キモ亦官民ノ間ニ定ムル條約ナリ故ニ其目的ヲ施行スベシヤ否ヤハ定メ

難シト雖凡皆國法ト云テ可ナリ即チ國法トハ政府ト人民トノ間ニ定ムル條約ニシテ彼此ノ特權ヲ全クシ互ニ之ヲ妨クルトナカラシムル者ヲ云フ而シテ其旨趣ハ衆人ヲノ官府ノ所業ニ注意シ若シ正路ニ悖ルトアラバ直ニ論駁ノ之ヲ妨ケシムルニ在リ故ニ往々人民ノ叛逆ヲ妨ケ政府ノ革命ヲ禦ク所以ノモノナリ

國法ハ人民ノ風俗意見ノ厚薄及ヒ富饒識見ノ多寡ニ從テ千種萬様ノ異同アリト雖凡之ヲ用キル所以ハ上下ノ別ナク皆正當ノ權利ヲ全ク

シ齊シク諸人ノ特権ヲ擁護シテ其安全ヲ謀ル
ノ方制ニシテ之ヲ要スルニ上下ノ間ニ政治ヲ
行フノ方法ヲ定メ世俗ノ自主ト宗門ノ自由ヲ
擁護スルノ定約ナリ世俗ノ自主トハ何様ノ作
業ヲ為スモ國ノ法度ニ反セザレバ毫モ是非ス
ルモノナキヲ云ヒ宗門ノ自由トハ何等ノ説ヲ
發スルモ規則ニ悖ラザレバ敢テ間然スルモノ
ナキヲ云フナリ是故ニ國法ニ遵テ設ル所ノ定
律政治ハ最上ノ體裁ニシテ真ニ文明ノ民ニ適
スベキモノト云フベシ

立君獨裁

方今萬國政治ノ體裁ハ大抵立君獨裁ニシテ定
律ナル者稀ナリ蓋シ政治ノ體裁ヲ論ズルハ至
文至明若クハ半開半化ノ國ニアリテ特ニ切要
ノ旨トス故ニ今草昧夷俗ノ國ニ存スル數多ノ
獨裁政治ハ姑ク閣テ論セズ凡ソ歐洲ニ獨裁國
ノ大ナルモノ四アリ即チ佛蘭西魯西亞奧地利
普魯西是ナリ但シ普魯西ハ從來獨裁國ト唱ヘ
シカ氏今世ノ王其國法ヲ改革セシ故ニ殆ト
此俗ヲ脱セシナラン

立君獨裁ノ下ニ居ル人民ハ皆法律書ニ由テ保
護セララル、ニ似タレ氏實ハ然ラス大抵官ノ掌
握ニ在リテ恣ニ管理セララル、モノナリ而シテ政
府ハ其下民ヲ服従セシメンガ為ニ大ナル兵力
ヲ備ヘ且校訂官ヲ設ケテ出版ヲ抑制シ巡邏ヲ
置テ私業ヲ窺索シ又路票アリテ旅行ヲ制ス就
中立君獨裁ノ主眼トスル所ハ諸政ヲ首府ノ大
臣局ニ聚メ此ヨリ諸部ノ官廳ニ号令ヲ出スニ
在リ斯ク人民ヲ治ムルト兒童ヲ督理スルガ如
クナル片ハ人民必ズ共和政治ノ為憤ヲ得ル

ナク而シテ非常ノ強壓ニ逢フニアラザレバ安然
此制度ノ下ニ居テ敢テ之ヲ間然スルモノナシ
斯ル方制ハ人心ヲ憤懣セシムルニ似タレ氏實
ハ然ラズ反テ官ヲ輔クルノ意ヲ生セシムルモ
ノナリ乃チ政府ハ衆人一般ノ為メ花園及ヒ逍
遙場ヲ設ケ且數多ノ快樂物ヲ備ヘ以テ衆人ヲ
此ニ娛遊セシム斯ノ如クニシテ全國舉テ太平
ヲ謠フモノナリ就中世ノ反謀ヲ禦キ人ノ私利
ヲ制シ以テ國家衆人ノ裨益ヲ為ス如キニ至テ
ハ定律政治ト雖氏立君獨裁ニ如カズ是故ニ其

配下之ヲ尊仰スルヲ他ヨリ想像スル如キニア
ラズ

立君定律

歐羅巴洲中ニ立君定律頗ル多シト雖氏大抵名
實相反スサルデイニア白耳義瑞典ハムブルグ及
ヒ日耳曼ノ諸小國ハ皆一種ノ國法アリテ佞令
國君ト雖氏人民中ヨリ選舉セル代員ノ集會ニ
由テ其威權ヲ抑制セラル然氏此等ノ國法ハ大
抵譏笑スベキモノ多キカ故ニ今爰ニ詳記スル
ヲ要セス而シテ治世ノ君ハ已レノ權威ヲ以テ集會

ノ決意ヲ打消スルアリ或ハ相共ニ政ヲ議シ或
ハ獨立シテ政ヲ論スルアリ荷蘭ノ如キハ國法
アリト雖氏其人民公會ヲ設ケテ政ヲ議スルノ
權ナク加之校訂官アリテ出版ヲ制セラル歐洲
中最モ有功ナル立君定律ノ政治ハ白耳義國ニ
在リ又近世ニ至リサルデイニアニ行ハル是班牙
葡萄牙ノ如キハ其國法未熟ニシテ且不規則ナ
ルガ故ニ之ヲ記スルモ益ナシ

大英國ノ國法 上文歐洲大陸ノ未タ圓全ナラ
ザル國法ヲ記セシガ今將サニ大英合衆王國

蘇格蘭、埃爾蘭、威爾斯ノ總名 舊設不動ノ國法ヲ爰ニ載セント
ス夫レ此國ノ政治タルヤ其體裁一種無類ニシ
テ屢他ヨリ之ニ倣フモノアリト雖モ立君政治
ノ體裁之ニ過クルモノアルナシ其立法官ハ血
統ノ君時ノ情態ニ從テ王ヲ立テ世襲ノ貴族ヲ
舉ケ平民ヲ選舉シ此三種ヲ以テ之ヲ設ク一千
六百八十八年政府革命ノ前ハ國君皆生レナカ
ラニシテ動カス可カラザル神君ノ權利ヲ以テ
下ヲ督制スルノ特權ヲ持セシガ此革命ノ時ニ
方リ國君庶民ト相議シテ下ヲ管理スルノ定律

ヲ立ツ爾後新君即位ノ時ハ必ズ先ツ其國法定
極ノ箇條ニ遵テ下ヲ管理セン_トヲ誓詞スル_ト
常トナリ其政ヲ執ルニ方リ百機皆宰相ニ托シ
テ自カラ之ニ関セズ故ニ何等ノ事件發スルモ
其責メ宰相ニアリ宰相ハ議事院上下兩局ノ決
議ニ由テ賞罰ヲ受ルガ故ニ總テ人民ノ望ミニ
從テ所置ヤザルヲ得ズ斯ノ如クニシテ人民政
府ノ所為ヲ抑制スルヲ得テ自主自由ノ權利ヲ
守ルモノナリ

議事院トハ國君貴族平民相聚ルモノヲ云ヒ而

ノ國王ハ常ニ宰相ト共ニ之ニ出席スト雖此事
務ニ關係セズ唯其兩院ノ決議書ニ調印スルノ
ミ上院ノ議事官ハ人民ノ論駁ヲ以テ免スルコ
能ハザル世襲ノ立法官ナレバ自然國法モ鞏固
ナルヲ得ベシ下院ノ議事官ヲ選舉スル者ハ此
國ニ生レ或ハ既ニ此國ノ戶籍ニ在ル強壯ノ男
子ニシテ二十有一歳ヲ越エ收税ノ事務ニ関セ
ズ且首府ノ捕廳ノ職ニ在ラズ又自カラ誣誓ヲ
發シ或ハ人ヲシテ誣誓ヲ發セシメ或ハ賄賂ヲ
受ケテ公ケニ糾彈セララル、等ノコトナキモノニ

非ザレバ之ヲ許サズ然リ而ノ州郡ニテハ每歳
十「ポンド」ノ價ヲ收ムベキ永代私有或ハ終身地
代ヲ持スルカ若クハ每歳五十「ポンド」ノ地代ヲ
出シテ土地ヲ領守スル者ニアラザレバ能ハズ
都府ニテハ敷地ト共ニ每歳十「ポンド」餘ノ價直
ヲ收ムル家屋或ハ店舗ヲ有スル者若クハ每歳
十「ポンド」ノ地代ヲ償ヒテ家屋ヲ借ルモノニア
ラザレバ之ヲ許サズ
議事官選舉ノ法ハ略前條ノ如クナレ其權多
クハ郊外ニ居ル有爵ノ貴族ヲ始メ總テ土地ヲ

領セル縉紳ノ掌握ニアリ而ノ自主ノ工匠ヲ除クノ外鄙賤ナル工人ハ曾テ此権ヲ得シトナシ一千八百三十一年ニ方リ「レ」フアルムアクトト議事院ノ決議書ノ名ニシテノ決議アリシ後ハ商賈執師製造者農夫等ノ如キ中等ノ族モ亦此権ヲ得タリ然ト雖凡此改正ノ為メ立法官ノ一改進セシニアラス方今尚田舎ノ土地ヲ領セル縉紳及ヒ都府ノ縉紳等ノ投票ニ由テ議事官ヲ選舉スル一多シ而メ常ニ選舉人ノ奸計アルヨリ終ニ議事院ト不和ヲ生シ之カ為メ大ニ時ヲ消スルガ

故ニ國家ノ事務自然遲滯セザルヲ得ス然ラズンバ其執行必ズ疎漏ヲ免レズ
 行政局ノ所置中ニハ博識ノ人ト雖凡了解シ難キモノ多シ而メ其政府ノ萬機特ニ百事ノ了解シ易キヲ主トスルニ非ラスシテ人民ノ專ラ職業ニ精勤シ且舊設ノモノヲ貴フノ心アリテ諸事置テ問ハザルニ基ツクモノニシテ其政非常ノ事故アルニアラザレバ唯少時ニシテ其政ヲ行フ然ト雖凡人民隨意ニ集會ヲ為スヲ得且異事アレバ直ニ新聞紙ニ載セテ世ニ公クニスル

カ故ニ之ガ為、少人ノ権柄ヲ以テ多人ヲ壓抑ス
ルノ勢ヲ防キ或ハ叛逆ヲ企ルモ敢テ其成績ヲ
為スヲ能ハス又政府ノ節制自カラ弊ナキニア
ラスト雖モ總シテ裨益トナルヲ多シ國法モ亦
然リ仮令害ヲ包含スルヲアリト雖モ亦以テ世
俗自由ノ一大助トナルヲアリ行法官ハ其位置
ヲ維持シ且兩造ノ不和ヲ輯定スルノ職分ヲ盡
スニ稍無カナルニ似タレモ是亦世人ノ自由ヲ
助ルヲ甚シ凡ソ地球上何レノ立君國ヲ尋ヌル
モ英國ノ如ク偏私ノ所業ヲ為サスシテ專ラ人

民ノ自由ヲ得セシムルモノアルナシ即チ其箇
條左ノ如シ國法ノ限界ニ遵ヒ政府ニ對シ抗言
スルノ自由、國中由板ノ自由、路票ナク所々ニ旅
行スルノ自由、檢査及ヒ免許ナクシテ貿易ヲ行
フノ自由、人民相集リテ政治ノ趣意ヲ聽聞シ其
教ヲ受ルノ自由、人民會合シテ國政ヲ商論スル
ノ自由、議事院ニ稟帖ヲ出シテ官ニ建白スルノ
自由、宗門信仰ノ自由、各科ノ學ヲ生徒ニ授ケン
為メ學校ヲ設ルノ自由、貴賤貧富ノ別ナク法度
ニ遵テ生命及ヒ私有ヲ堅牢ナラシムルノ保護

百利全書
紀問ヲ受ルコトアレハ必ず陪審官列席ノ上ニテ
糾問ヲ受ルノ權、罪科ヲ受ル時ハ飽マテ鞫問ヲ
受ケンコトヲ逼ルノ權、其罪ニ伏スル迄ハ無罪ノ
扱ヒヲ受ルノ權、審司ニハ法制アリテ假令威權
アル人或ハ人民ノ偏執ト雖、其之ニ害ヲ加フル
コト能ハス故ニ飽マテ公當無偏ノ審判ヲ為シ以
テ其廉節ヲ破ラザルノ美事是ナリ斯ノ如キハ
則チ自由ノ堡障ナリ之ニ加フルニ強テ人ヲ軍
事ニ役使スルコトチク或ハ城郭ヲ築キ或ハ砲臺
ヲ備フル都府ナシ又叛逆ノ所業ヲ為スモノア

レバ直ニ之ヲ伐シ以テ太平ヲ維持シ又鄙賤ノ
人ト雖、其尊官高爵ニ昇ルヲ妨クルノ制度ナシ
然ト雖、其上ノ妨害ト為ルモノ左ノ如シ一ニ曰
ク一套ノ法律アリテ其旨趣甚ダ錯乱シ且甚ダ
了解シ難キノミナラス之ヲ遵守スルニ當テ亦
出費多クシテ下等ノ人民ハ之ヲ守ルコト能ハザ
ル是ナリ二ニ曰ク議事院ノ大議論多クハ常ニ
一般ノ人民ニ関ハラスシテ唯一族ノ人民ニ係
リテ之ヲ定ムルノ風習是ナリ三ニ曰ク全國一
般ニ施行セラル教育ノ法ナキガ故ニ人民ヲシテ

精神ヲ開キ人倫ヲ明ニシ以テ交際ノ情態ヲ圓
全ナラシムルノ道ナキ是ナリ蓋シ此等ノ弊事
ト雖凡人ノ博識ニ出ル昭明ナル公論ヲ以テセ
バ必ズ之ヲ改進スルヲ得ベシ

共和政治

共和政治トハ大権人民ニ在ルヲ云フ蓋シ一國
ノ人民舉テ之ヲ掌ニスルアリ或ハ一國過半ハ
人民之ヲ握ルアリ而ソ立法局行法局ノ官員ヲ
命ズルハ皆其選舉ニ因ラザルハナシ然ト雖凡
方今此政治甚ダ少レニシテ歐羅巴洲中ト雖凡

名實齟齬セザルハ唯瑞西諸州ノ共和政治ノミ
此國ニ於テハ各州大抵方二三里ノ地位ヲ畫シ
數千ノ人民アリト雖凡殊ニ農業ニ関スルモノ
多クシテ英國地主ノ如ク許多ノ産業ヲ持スル
モノナシ大都府モ亦富饒英才ノ商賈若干數ヲ
リト雖凡就中辛工苦作ノ小農夫多クシテ中等
以上ノモノ甚ダ少ナク而メ立法及ヒ行法ノ職
務モ皆此景况ニ從テ之ヲ行フ即チ其法律中歌
舞ヲ禁シ或ハ外國人ニ地面家作ヲ賣却スルヲ
制スル等ノ如キ條例ハ特ニ人民ノ心狹隘ナル

ヨリ生スル所ニシテ實ニ賤シム可シト雖凡又
善良ナル法律ナキニアラス就中貿易ノ自由ニ
係ル條例ノ如キハ最モ稱譽スベキモノナリ此
等ノ諸州衆議堂ニ參會シテ奧地利及ヒ其他ノ
立君國ニ服屬スト雖凡掠奪セラレ、ノ患ナシ
如何トナレハ此等ノ立君國互ニ嫌疑ヲ懷キ以
テ互ノ業作ヲ覘フノミナラズ瑞西國ノ地勢堅
固ナレバナリ又瑞西ノ人民ハ恒常佛蘭西及ヒ
北亞米利加ニ移住スルニ因リ人口過多ニ至テ
全國貧窶ノ賤シキニ陥ルノ憂ナシ

亞米利加大陸ニ於テ歐羅巴ノ所領破壊セシヨ
リ數種ノ共和政治國起リシガ就中最モ盛大ナ
ルハ一千七百七十六年ニ興起セシ北亞米利加
合衆國是ナリ而ノ立法局行法局ノ官ヲ設ルノ
法ハ略英國ニ同シト雖凡其異ナル所ハ血統ノ
君ヲ立テスシテ大統領ヲ選ンテ總裁ノ職ニ任
シ且審司其他官員ヲ命スルノ權王家ニ在ラズ
シテ人民ノ手ニ掌握スルニ在リ又其國英國ノ
如ク一國ヲ以テ立ツルニアラズ數箇ノ共和政
治州ヲ聯合セルモノニシテ各獨立不羈ノ景况

百系全書 三卷第一
ニ居リ而ノ國法ヲ議定スルノ權ハ議事院ニ在
リテ議事院ハ上下二區ニ分ツ上院ノ議事官ハ
各州ノ議事局ニテ選舉シ一州ヨリ二員ヲ貢シ
在職六年ヲ限トス其中三分ノ一ハ二年毎ニ新
ニ選舉セシモノト交代ヲ為スナリ而ノ新ニ選
舉セラル、者ハ其齡三十歳ニ滿チ合衆國ノ戶
籍ニ入テ九年ヲ經且當時其選舉ヲ受ル州ノ住
民ニ非ザレバ之ヲ許サズ下院ノ議事官ハ合衆
國一般ノ人民ヨリ選舉シ在職二年ヲ限トス而
ノ其年二十有五歳ニ滿チ合衆國ノ戶籍ニ入テ

七年ヲ經且當時其選舉ヲ受ル州ノ住人ニ非ザ
レバ能ハズ而ノ諸州ヨリ此議事官ヲ貢スルノ
員數ハ其州民ノ多寡ニ比例シテ異同アルベシ
諸州ノ人口ヲ數フルノ方法ハ無稅ノ「インディア
人ヲ除クノ外」總テ年期ヲ限テ人ニ奉行スル者
ニ至ル迄盡ク之ヲ籠メ其自主ノ人ノ總數ニ自
他ノ人員重ニ奴隸ヲ指シテ云フ五分ノ三ヲ加ヘ以テ之ヲ
計算ス近年ノ戶籍調ニ此方法ニ從テ算計セル
比例ハ州民ノ數九萬三千四百二十三人ニ付キ
一人ニシテ當今其議事官ノ員數二百三十三人

ナリ而ノ上下兩院ノ議事官及ヒ各州ノ評議官
 等皆其職祿ヲ受ク又各州ノ選者ハ本州議事下
 局ノ官負テ選舉スルノ任ニ當ル人ヲ要ス
 大統領ハ國中ノ人民ヨリ選舉スルモノニシテ
 在職四年ヲ期トス但シ此期ヲ終ルノ後再ヒ選
 舉ニ當ルコトモアルベシ合衆國ノ大統領ハ大抵
 再任ノ選舉ニ當ルモノ多シ大統領及ヒ副統領
 ヲ選舉スルニ方リ各州定數ノ選者集會シテ今
 選舉スル所ハ大統領ト副統領トノ姓名ヲ記セ
 ル封書ヲ上院ノ議長ニ呈ス議長之ヲ受ケ上下

兩院ノ議事官ヲ會シテ之ヲ密封シ以テ其投票
 ノ數ヲ算計シ其數最モ多クシテ其選者ノ數過
 半ニ至ルモノヲ立テ、大統領ト為シ以テ之ヲ
 公告ス若シ又選者ノ數過半ニ至ルモノナキ片
 ハ下院ノ議事官其中名帖ノ最モ多キモノ三名
 ヲ舉ケ票筒ヲ以テ其一名ヲ選舉ス副統領ヲ選
 舉スルノ方法モ亦斯ノ如シ其投票ノ數最モ多
 クシテ其選者ノ數過半ニ至ルモノヲ立テ副統
 領ト為シ以テ之ヲ公告ス若シ其數過半ニ至ル
 モノナクレバ上院ニ於テ其中投票ノ最モ多キ

モノ二名ヲ舉ケ其一名ヲ選ブ然レモ大統領及
 ト副統領ノ中一人ハ必ズ他州ノ人ナラザルベ
 カラス但シ此選舉ニ當ルモノハ合衆國ニ生レ
 齡三十歳ニ滿テ且十四年間本國ニ住居セシ者
 ニ非サレバ能ハズ各州ノ選者ヲ舉ルノ方法ハ
 デラフーレス、カロリナ及ビテンネッシーニ
 於テハ議事局ニテ之ヲ選ヒメイン及ビマレー
 ランドニ於テハ每郡投票ノ方法ニテ衆人ヨリ
 之ヲ舉ク其他諸州ニ於テハ一般ニ票紙ヲ投シ
 テ之ヲ選舉ス又各州ノ議員ヲ舉クルノ方法ハ

略衆人一般ノ選舉法ニ關スト雖モ年二十有一
 歳ヲ超エ一年間其州ニ住居セル人ニアラザレ
 バ其選者タルコト能ハス
 夫レ苾々タル廣野ト煙戶湊密ナル地トヲ包羅
 シ且創立以來未ダ多年ノ實驗ヲ經ザル共和政
 治ニシテ其堅牢ナリヤ否ハ姑ク確説スベカラ
 ズ而モ方今合衆國正ニ此情態ニ居ルト雖モ我
 カ英國ノ如ク煙戶湊密トナリ從テ其富饒ヲ増
 加シ其睿智ヲ開クノ後尚ホ此情態ヲ維持センヤ
 否ヤハ唯來時ノ勢ヲ俟テ之ヲ論スバキノミ

政府ノ革命

政府ノ革命トハ法律常ノ如ク行ハル、ニ方リ
 擾乱起リテ政府ヲ轉覆シ然ル後再ヒ之ヲ設ル
 ヲ云フ凡ソ歴代中革命ノ例數種アリテ既ニ我
 カ英國ニ於テモ第一世チャルレス王ヲ刑典ニ處
 シテ立君ノ政治ヲ廢シコロノウェルノ大統領ト
 ナシ以テ共和政治ヲ設立セシメアリ蓋シ此等
 ノ一ヲ以テ世ニ革命ノ部ト為サザルモノアリ
 ト雖氏是亦一大革命ニシテ又一千六百八十八
 年ニ方リ王朝變シテ第二世ゼームス王ノ朝ヨ
 リアルレム及ヒマレリ

朝ニ至リシモノニシテ其國
 歷史中之ヲ革命ノ朝ト云フ 國法ノ變易セシハ
 世人常ニ革命ト稱ス是則チ王政維新ノ創メニ
 シテ之ヲ為スニ毫モ暴舉虐動ヲ用キズシテ其
 成功ヲ奏セリ又亞米利加所領ノ諸州叛シテ竟
 ニ獨立セシハ固ヨリ瞭然ノ革命ニシテ此等ハ
 武威ヲ以テ之ヲ成シ其功ヲ歐羅巴ニ輝カシシ
 モノナリ一千七百八十九年ニ方リ佛蘭西ノ革
 命ニ於テハ其暴動甚シク且從テ生セシ患害甚
 タ大ニシテ凡ソ歴代中ト雖氏其比ヲ同ウスル
 モノナシ

總テ革命ハ政治ノ善ナラサルヨリ生スルモノニシテ政府徒ラニ古風舊例ニ泥ミ世ノ變遷ニ從ヒ至要ノ改正ヲ拒ムヨリ竟ニ上文ノ如ク一國ノ人民皆嫌惡ノ心ヲ懷クニ至ル是ヨリシテ次テ叛逆ノ所業起リ宜シク其功ヲ奏スレバ則チ革命トナルマシ夫レ英國共和政治ヲ立テコロシウエルヲ以テ事務ノ總裁ニ任セシ其革命ノ興起セシ所以ハ第一世チャルレス王議事院ノ同意ヲ得スシテ徒ラニ租稅ヲ收斂セシヨリ遂ニ此ニ至リシモノナリ又一千八百八十年ノ革命

ハ第二世ゼームス王已ノ威權ヲ恣ニシ以テ一國ノ人民ヲ憤怒セシメシニ因レリ又亞米利加ノ革命ハ英國政府ヨリ土民ヲシテ議事院ニ名代人ヲ出スヲ許サズ徒ラニ租稅ヲ課シ以テ國法上ニ所謂名代人ヲ出サレバ租稅ナシノ箇條ニ違背ヒシニ因ル所ナリ一千七百八十九年ニ方リ佛蘭西革命ノ原因ハ全國ノ騷擾ニ基クト雖氏僧侶及ヒ貴族等國餉ヲ出スヲ肯ンセザリシヨリ遂ニ斯ル事變ヲ生セシモノナリ但シ此等ノ二族斯ノ如ク徒ラニ租稅ヲ拒ムコトナク

黙シテ其會計ノ衰微ヲ扶助セシナラバ恐ラク
ハ斯ル患害ヲ生スルヲナカルベシ
從來起リシ諸種ノ革命ヲ以テ各國ノ政府宜シ
ク深慮遠謀ノ所行ヲ為スノ戒ト為スベシ夫レ
廟堂ニ立ツ人ハ衆口ニ撓マス只管テ人類ノ進
歩ヲ撻取ラシメンテ謀ルヲ以テ其職分トシ
且其利益トス故ニ宜シク世ノ睿智ヲ進歩セシ
メ且政府ヲ轉覆スル如キ衆人ノ憤怒ヲ發セシ
ムルヲ要ス但シ憤怒トハ世ノ狂肆ノ如キモノ
ニアラズ衆人亦種々ノ革命ノ為メ己ノ戒ヲ得

テ為スモノヲ云フ而メ仮令些少ト雖氏國法ニ
反シテ政府ニ敵對ノ形狀ヲ為スハ至大ノ惡事
ニシテ乃チ其功ヲ奏スルハ驚懼戰慄スベキ
害ヲ生スベク又其計成ラサルハ逆賊非道ノ
名ヲ免カル、一能ハズ英國佛國ノ變革其他瑣
小ナル反謀等ヲ以テ之ヲ考フルニ總テ革命ハ
大抵一種ノ轍ヲ踏ムモノニシテ第一ニハ舊來
ノ政府ヲ一新シテ更ニ自由ナル政府ヲ設ケ第
二ニハ其新政府ノ官負ハ皆弊害アレバ直ニ改
革セララルベキヲ知ルガ故ニ恐レテ其所置嚴ニ

百
手
合
言
三
階
六
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

セズ其温順ニ過クルヨリ竟ニ再ヒ顛覆セラルルニ至ル第三ニハ陽ニ厚情ヲ唱ヘ陰ニ私讎ノ思念ヲ懷キタル躁暴ノ徒出テ更ニ新政府ヲ立ツ第四ニハ到底無父無君ノ乱世ニ陥リ一國憤々トシテ其次序ヲ攪シ遂ニ生命及ヒ私有不穏ナルニ至ル第五ニハ此擾乱ニ乘シテ武人蜂起シ威カヲ以テ己ニ敵スル者ヲ討チ遂ニ四隣ヲ稍平寧ナラシメ以テ衆人ヲ欣然タラシム第六ニハ斯ノ如ク平寧ナルモ獨裁擅政ノ然ラシムルヲ了解シ再ビコロシウエル或ハ拿破崙ノ如

キ者起リテ其頭ヲ取ルニ至ル然ル後又其國法ノ整立シタル舊形ニ復スルマテ多年其困苦ニ堪ヘザル可カラズ蓋シ此等ノ次序ハ時ノ形勢ニ從テ稍變易アリト雖大抵人民ノ草率無心ノ舉動ヨリ来ルモノ同一轍ナリ初メ革命ヲ企テ其功ヲ終ヘザル者ノ如キハ其望ミ全ク空ク斯ル擾乱ノ片ニ方テハ兇猛ノ黨蜂起シテ互ニ鬭争ヲ為シ交打滅セラレ、モノナリ革命ヲ企ル人宜シク其功ヲ奏セントヲ欲スルニハ他ノ事故ニ關スルヲナク專ラ人民自治ノ

能ヲ奮勵セシメ且他ヨリ非道無理ノ暴虐ヲ以テ攻襲スル時ニハ必ス同心戮カシテ之ヲ禦クノ志氣ヲ鼓舞セザル可カラズ斯ノ如キハ方今政治上ノ定旨ナリ歐羅巴大陸ノ革命成績セザル所以ハ大抵人民ノ不能ヨリ起ルモノニシテ不能トハ人民其公會ヲ管理スベキ定式ヲモ知ラザルヲ云フ而シテ合衆國ノ革命獨リ成功シテ不羈獨立ヲ得シ所以ハ固ヨリ一種ノ情態アリシヲナレバ就中其人民聰明ニシテ嘗テ立君定律政治英國ノ政治ヲ云フノ下ニ在テ自主自由ノ理ニ慣

為セシニ因ルナリ

政治結論

前條ニ數種ノ政治ヲ記セシガ其性質及ヒ權勢ヲ考フルニ方リ必ス名ヲ以テ實ヲ誤ルノ弊ヲ避ケザルベカラズ夫レ立君獨裁ハ毫モ責ニ任セサル人ノ掌握ニ在ル政治ヲ云ヒ共和政治ハ全國ノ人民一致和合シテ設ル所ノ政治ヲ云フト雖氏世人立君獨裁ヲ以テ必ス暴虐無道ノモノトシ共和政治ヲ以テ寛裕良美ノモノトセバ必ス其意ニ惑フト多シ立君獨裁ト雖氏其事實

自由ニシテ及テ共和政治ニ勝ルモノアルベシ
 而ノ斯ル政治ノ行ハル、所以ハ其君聰明ニシ
 テ且恩愛ノ情ヲ存スルニ在テ斯ノ如キハ其
 君必ズ下民ニ辛苦ヲ加フルナク只管ラ人民ノ
 福祉ヲ享ケ昌盛ニ浴スルヲ樂ミ夙ニ起キ夜ハ
 ニ寐子致々ト勉強シテ其萬機ヲ行ヒ其民ノ父
 母トナリ輔佐トナリテ其裨益ヲ謀ルカ故ニ世
 ニ之ヲ稱シテ父政ト云フ乃チ何ゾ公會共和政
 シテ及フ所ニアランヤ然ラハ則チ斯ノ如キ
 君若シ數代相連續スルヲ得ハ必ズ立君獨裁ヲ

以テ最良ノ政治ト為スベシ然ト雖ヒ惜哉此等
 ノ一常ニ甚ダ稀レニシテ偶々美質ノ君アリト雖
 氏到底亦其弊害ヲ生シ一國竟ニ擾乱ノ姿ニ陷
 ルモノ多シ是故ニ民ノ父母タル獨裁ノ君ハ先
 ツ其人民ヲシテ自治ノ能ヲ奮起セシメ以テ自
 カラ定律政治ニ赴クノ道ヲ開キ然ル後之ヲ教
 導シ斯ノ如クニシテ其良政ヲ萬世ニ傳フルヲ
 以テ其目的ト為サザルベカラズ
 世ニ共和政治ヲ以テ最モ自由寛裕ノ政治ト為
 スト雖ヒ從來有名無實ニ属スルモノ多シ一千

七百八十九年乃至一千七百九十三年佛蘭西革命ノ擾亂以來如何ナル獨裁國ト雖氏同國共和政治ノ苛虐ト比テ同ウスルモノナシ夫レ佛蘭西共和政治ノ公會ニ於テハ特ニ苛酷ノ法律ヲ設ケ暴虐ノ政ヲ行ヒ以テ蒼生ヲ塗炭ニ苦シメ毫モ人民公私ノ權利ヲ顧ミズ彼ノ子口或ハカリグラノ虐政ト雖氏遠ク之ニ及バザリシト云フ凡ッ共和政治ノ軟弱トスル所ハ躁暴無學ノ徒大ニ權勢ヲ得其國法定極ノ特權ヲ唱へ漫リニ溫和聰明ノ人ヲ虐ス溫和聰明ノ人ハ大約其

暴黨ノ騷擾ヲ避ニカ為メ其公務ヲ退クニ在リテ其最モ稱譽スベキ共和政治ト雖氏貪利驕傲ノ徒之ヲ掌握スルモノ多シ乃チ此ニ論スル所ハ皆世人ヲシテ其名實ヲ誤ルノ弊ナカラシメシガ為メナリ故ニ宜シク次條ノ一ニ注意スベシ夫レ政府ハ固ト數種ノ目的ヲ達スベキ夾雜ナル器械ニシテ其巧拙ヲ判スルニハ其製造ノ方法ヨリ更ニ其作用ヲ以テセザル可カラズ而シテ其原因ノ為メ國家ノ大ニ開化ニ進ムモ是決シテ其原因ノ美ナルニ因ルニ非ズ其作業ノ善

ナルニ因ルモノナリ蓋シ人々政府ノ所置ト法律トヲ遵行スルハ則チ人民普通ノ職分ニシテ凡ソ一人一國ヲ問ハズ其福祉安寧ヲ保スル為メ最モ欠ク可カラザルモノトス

行政

凡ソ政治ノ體裁何様タルヲ問ハス之ヲ行フニ方リ一族ノ職員ヲ命シテ各局ノ事務ヲ總督セシムルヲ要トス而ノ其各局ノ事務ヲ總督シ且國王ノ樞密會議即チ内閣ヲ云フナリニ參與スルモノヲ執政ト云フ大臣ノ義ナリ總テ執政ハ國王ノ命

ヲ受ケテ其職ニ在ルモノニシテ總テ定律政治ノ國ニ於テ王家ノ萬機皆執政ノ責ニアリ蓋シ大英國ノ執政ハ預メ之ヲ設ケ置クモノニ非スシテ皆時々ノ形勢ニ從ヒ其事務ニ必要ナルニ臨ンテ漸ニ増補セシモノナリ即チ方今其執政ノ員左ニ掲ルガ如シ第一會計事務宰相、第二司法事務宰相、第三出納事務宰相、第四外國事務宰相、第五屬州事務宰相、第六内國事務宰相、第七樞密議長、第八樞璽官、第九海軍事務宰相、第十督制事務宰相、第十一蘭加斯篤爾公國事務宰相、第十

二地稅事務宰相、第十三陸軍事務宰相、第十四驛
通事務宰相、是ナリ但シ通常樞密會議ニ參與ス
ルモノ上ノ定員ニアリト雖、他ニ又宮内事務
宰相、通商事務宰相等ノ如キ執政十二員アリテ
時々ノ事情ニ從ヒ或ハ之ニ參與シ或ハ之ニ參
與セザルモノアリ概スルニ英國常ニ定任ノ執
政ナキガ故ニ執政ノ轉スル毎ニ萬機亦從テ一
新ス

内國事務宰相ハ總テ國內ノ事務ニ関スル行法
官ノ總督ニシテ審司、縣令等ノ諸官員ヲ命スル
ノ權アリ又陸軍ハ陸軍事務宰相及ヒ總帥ノ掌
握ニ在リ海軍ハ海軍事務宰相及ヒ其局中ノ諸
官之ヲ司ル又宗門教育等ノ諸事務ハ定任ノ執
政ナク出納ハ又出納事務宰相ノ獨斷及ヒ其任
責ニアルナリ

又地方官ヲ置カン為メ英國分テ數多ノ縣ト為
ス昔シ「五等官ノ中伯ニ」當ル爵名ナリノ配下ニアリシ
モノハ今縣令等ノ管下ニ屬ス但シ縣令ハ往古
ヨリ存スル所ノ官職ニシテ蘇格蘭ニ於テハ王
家ヨリ出ル号令ヲ其管下ニ施行シ且其縣内ニ

起ル平常ノ事件ヲ審判スルノ權ヲ持セリ然ト雖氏特權アル都府ハ皆縣令ノ管轄ヲ離レ其府廳ヲ包含スル會議所ノ管理ヲ受ク蓋シ此會議所ハ十ポンドノ私有ヲ持スル議事院ノ選者或ハ適宜ノ能幹アル住民ノ發言ニ由テ每歲之ヲ選舉ス英國ニテハ都府ノ長官ヲ都司ト云ヒ蘇格蘭ニテハ府長ト稱シ又大都府ニ於テハ之ヲ府卿ト云フ其他都府及ヒ田舎ノ地又王家ヨリ命セル按察司アリテ大約其民法及ヒ刑法ノ諸事務ヲ管ス

凡ソ政ヲ行フニ官職ノ等級ヲ踏ミ長官ヨリ順次ニ下官ニ指令スル者之ヲ歸一ノ政治ト云フ即チ萬機皆長官ノ許ニ寄集セシムルヲ以テナリ英國ニ於テハ小事ハ皆人民ヨリ選舉セル諸官負ニ委任スルガ故ニ此行政上ノ形狀歐羅巴洲中何レノ政治ヨリモ少シ但シ斯ノ如キハ大ニ裨益アルニ似タレ氏事實ニ就テ之ヲ觀ルハ反テ一般ノ幸福ヲ妨クルトアリ譬ハ某種ノ都府ニ於テハ人民ノ選舉セシ官負反テ其職分ヲ行フノ能ナクシテ屢諸事ノ開進ヲ誤ル

多シ

外國使節

抑各國行政局ノ別派ニ外國ノ交際ニ関スルモノアリ而シテ外國公使トシテ其事務ヲ代理スルモノ其等級數種アリテ其最モ上等ナル者ヲ特命全權大使ト云フ唯政府ノ使節ニアラズ國君ノ代官タルガ故ニ相當ノ榮譽ヲ得相當ノ特權ヲ受ルモノナリ其次等ニ位スルモノハ特命公使全權公使代理公使ニシテ其次ニ又在留公使アリ而シテ其最モ下等ニ位スルモノヲ領事官ト

云フ領事官ハ唯貿易ノ事務ニ関スル而已ニテ毫モ政事上ノ事務ニ関スルナシト雖亦諸ノ公使ニ從屬シテ己ノ國人ヲ保助シ且路票等ノ事ニ関シ其旅行ヲ容易クスル職掌アリ特命全權大使及ヒ全權公使ハ其隨員トシテ若年ノ紳士ヲ同伴ス但シ隨員ハ唯名義ノミニテ別ニ委託セラル、職掌ナク專ラ文明ノ國ニ入ランガ為メ其名義ヲ受ルモノナリ故ニ時トシテハ貴族ノ子弟其使節ノ職ヲ見習ハント欲スレト書記官ノ命ヲ受ルハ己ノ爵位ニ恥ツバキ

ニ因リ唯、隨員トナリテ外國ニ行クモノアリ又
特命全權大使ノ職分ハ國ノ威光ヲ外國ニ耀カ
スヲ主トスルガ故ニ其陪從ノ數使節ノ事務ニ
相當ナルヨリ更ニ多キヲ要ス故ニ二名或ハ三
名ノ書記官ヲ卒并他ノ公使ハ唯、一名ヲ卒中ル
総テ外國公使ハ外國政府ノ信用ヲ得ベキ憑文
ヲ其官署ヨリ受ケ之ヲ外國ニ持參シ其外務宰
相ニ對面シテ其寫書ヲ讀ミ然ル後特命全權大
使ナレバ公ケニ其國王或ハ政府ノ官長ニ謁シ
然ラザレバ私ニ之ニ謁シ以テ其本書ヲ呈ス既

ニシテ此憑文ノ受納終レバ肅々トシテ其地ニ
在留セル諸國ノ特命全權大使ヲ尋訪シテ已レノ
吹聽ヲ為スナリ而シテ某ノ國ニ於テハ其旅館ニ
已レノ國或ハ王家ノ徽号ヲ附ス總テ公使ハ其行
ク所ノ國境ニ入ルヨリ身體ノ保護ヲ受ケ敢テ
傷害セラル、ノ患ナク且至大ノ特權ヲ得就中
其地方ノ制限ヲ免ル、ノ權アリテ苟モ其國民
ノ如キ督制ヲ受ルヲナク而シテ其身體隨員旅館
荷物等皆本國ノ所轄ニ在テ毫モ其國ノ管スル
所ニアラス總テ民法、刑法ノ所典ヲ免レ且租稅

ヲ出ス等ノトアルナシ其隨員モ亦斯ノ如シ故
ニ通常ノ巡邏使及ヒ收稅吏等漫リニ市人ノ家
ノ如ク其旅館ニ入テ檢査スルト能ハス又特命
全權大使ノ特權中其國ニ許サ、ル宗門ヲ信仰
スルノ權アリ又萬國公法ニ背クトアリテ自カ
ラ害ヲ受クベキトヲ察スル片ハ本國ノ命ヲ待
タズシテ隨意ニ其國ヲ去ルヲ得ベク又強テ其
國ヲ去ラシメラル、トアリ之ヲ名ツケテ放逐
ト云フ然テ公使本國ヨリ召狀ヲ得或ハ歸路ノ
路票ヲ受ル片ハ最早其使節ノ任ナキガ故ニ直

ニ其國ヲ發程セザル可カラズ然ト雖氏其身體
ハ尚ホ必ズ傷害セラル、ノ患ナク恙ナク本國ニ
歸來スルヲ得ベク且擾亂ノキト雖氏斯ノ如ク
ニシテ凡ソ歐羅巴諸邦太平ノキハ公使ノ如キ
公然ノ事務ニアラズシテ秘密且神速ヲ要スル
大切ノ事務ヲ扱フノ命ヲ受ケタル政府ノ走使
ノ如キモ亦其身體ヲ傷害セラレザルノ特權ヲ
得但シ是唯太平ノキニ限り且公使ノ體裁ヲ為
スヲ許サズ又領事官ハ特命全權大使附屬トシ
テ外國ノ港及ヒ都府ニ遣ラレタル官負ニシテ

其職分ハ專ラ貿易ノ事ニ關係スルモノナリ

政府ノ威力

各國ノ政府其命令ヲ施行シ或ハ其權利ヲ保護
セシガ為メ其威力ヲ用キル即チ此威力ハ文武ノ
兩道ニ關スルモノニシテ文道ノ威力ハ常ニ法
定ノ事務ヲ施行シ世ノ太平ヲ保シ且國法ヲ行
フニ在リ武道ノ威力ハ之ニ反シテ兵器ヲ携ラ
ル兵士ヲ備フルニアリ此威力ニ陸軍海軍ノ區
別アリ蓋シ開關以來國ニ常備兵ヲ存シ萬國共
ニ武力ヲ張り猛烈ヲ以テ自國ヲ保護シ暴威ヲ

以テ強敵ヲ攻滅セシヨリ遂ニ歷代ノ始メヨリ
今日ニ至ル迄干戈落々熄ムナキニ至ルモノナ
リ

方今耀々タル文明ノ國々ト雖^ル尚^ホ多寡ニ拘ラ
ス兵備ノ欠キ難キヲ知ル某ノ國ニ於テハ往々
民ニ兵器ヲ備ヘテ民兵ヲ編シ以テ其常備兵ノ
輔翼トナスアリ而シテ常備兵ハ步騎砲兵ノ三種
アリ英國ニ於テハ議事院法ニチニ一、アクト令ノ名ニ
由テ添力セル法律ヲ以テ陸軍ヲ管理シ又嚴ナ
ル軍律ヲ以テ全兵ヲ器械ノ如ク使役セシメテ

欲セリ総テ陸軍ハ総帥及ヒ分隊ノ將官其他屬員ノ管スル所ニシテ一千人ノ兵士ヲ以テ編制セル大隊ハ大隊司令官半大隊司令官各一名ノ麾下ニ在リ次ニ又副將小隊長半隊長分隊長各一名附屬シ其次ニ又裨官伍長及ヒ下等士官等之ニ屬ス而シテ各箇ノ大隊盡ク各種ノ號衣ヲ着シ就中軍器ノ製式及ヒ秤量ヲ異ニスルモアリ然リ而シテ敵ト對陣スルニ方リ歩騎砲兵互ニ相翼クベキガ故ニ其數互ニ適當ノ割合ナルヲ要ス夫レ騎兵ノ功用ハ敵ノ大隊既ニ味方ノ點

放ニ由テ大ニ敗走シ失胆狼狽スル中ニ乱入シテ之ヲ蹙ニスルニ在リ又英國ノ海軍ハ大小數様ノ船艦ヲ以テ之ヲ編制シ且適宜ノ備ヲ為シシモノニテ其号令極メテ嚴肅ナリ抑方今戰爭ノ目的トスル所ハ徒ラニ敵人ヲ殺害スルニアラス之ヲ四方ニ追散シ或ハ之ヲ驚怖シ以テ之ヲ降参セシムルニ在リ故ニ文明ノ國々ニ於テハ虜人ト雖モ彼レヨリ哀憐ヲ乞フ時ハ常ニ之ヲ允シ又面縛シテ軍門ニ降ルキハ慈悲仁愛ヲ以テ之ヲ處置スルモノナリ

內村耿之介 校

交際篇下終

百利全書篇名

- 星 學 二冊 地質學 二冊 氣中現象學 二冊
- 理科地理學 二冊 植物生理學 二冊 植物綱目篇 四冊
- 動物生理學 附人身生理學 二冊 動物綱目篇 八冊
- 物理 學 二冊 重學 附器械之理 二冊 動靜水學 附氣學 二冊
- 光學 附音學 二冊 越歷 附瓦爾華尼磁石 越歷多露磁石 二冊 時學 附時計 二冊
- 化學 二冊 百工應用化學 二冊 陶磁製造篇 二冊
- 織工篇 二冊 礦山學 附金石 二冊 金類篇 附治金術 二冊
- 蒸氣機 二冊 土木術 二冊 陸運篇 二冊
- 水運篇 二冊 建築學 二冊 暖室篇 附通風通光 二冊

給水篇 附 灌溉水方 二冊 農學 附 栽培種藝方 畝勤耕作方 四冊 菜園篇 二冊
 花園篇 二冊 果園篇 二冊 養樹方 二冊
 馬 二冊 家畜篇 附 乳汁採方 二冊 羊 附 羊、白、黑、羊 二冊
 豚 附 兔、食用之鳥、籠鳥 二冊 蜜蜂篇 二冊 犬 附 狩獵 二冊
 釣魚篇 二冊 漁獵篇 二冊 養生篇 二冊
 食物篇 二冊 食物製方 附 煎烹 二冊 醫學篇 二冊
 衣服篇 附 服式 二冊 人種之說 二冊 言語篇 二冊
 交際篇 附 政俗 二冊 法律之沿革事體 二冊
 太古史 二冊 希臘史 二冊 羅馬史 二冊
 中古史 二冊 英國史 六冊 英國制度國資 二冊

海陸軍制 二冊 地誌 歐羅巴 二冊 地誌 英倫、威勒斯 二冊
 地誌 蘇格蘭 二冊 地誌 愛倫 一冊 地誌 亞細亞、附 求印度 二冊
 地誌 亞非利加、附 大洋群島 二冊 地誌 北亞米利加 二冊 地誌 南亞米利加、附 西印度 二冊
 人心論 二冊 骨相說 二冊 明理學 二冊
 造化妙用說 附 人道學 二冊 西洋經典緣起 附 基督教說 二冊
 洋教宗派之說 二冊 田教 附 印度教、佛教 二冊
 蘇干地那威神學 附 諸小派 二冊 歲時記 二冊
 脩身論 二冊 接物論 二冊 經濟論 二冊
 貿易論 附 貨幣、銀行 二冊 戶籍 附 救貧法、戶口、戶籍 二冊 百工儉約訓 二冊
 國民統計學 二冊 教導說 二冊 英吉利文法 二冊

百利全書

算術 附代數學 二冊 幾何學 二冊 畫 附彩色彫刻 二冊

體操 附戶外嬉戲方 二冊 戶內遊戲方 二冊 古物學 二冊

善論學 二冊 刷板術 附石板術 二冊 彫刻術 附寫真術 二冊

家事儉約訓 二冊

通計九十二篇 二百冊

官版御書籍發兌

芝大神宮前

山中市兵衛

日本橋通二丁目

稻田佐兵衛

横山町一丁目

出雲寺萬次郎